

全学就業力育成実行プロジェクトチーム

リーダー 柴 孝夫 様

全学就業力育成実行プロジェクトチーム

第4部会チーフ 安田和彦

平成22年度 第4部会 活動報告書

次のとおり、部会活動を報告いたします。

1. 部会テーマ・概要

就業力育成を全学的に展開していくために、可能な限り多数の学生を対象としていく。

そのために、キャリア形成支援科目を受講する学生を、5年後には現在の2倍となる全学生の50%、6,000人程度までには引き上げることを目標とする。

2. 達成目標（完成年度まで）

年度末	達成目標
平成22年度	2,712人 横展開科目 1,909人、新規・充実実践科目 84人、PBL161人、既存科目 558人
平成23年度	3,160人 横展開科目 2,150人、新規・充実実践科目 110人、PBL360人、既存科目 540人
平成24年度	3,840人 横展開科目 2,580人、新規・充実実践科目 160人、PBL600人、既存科目 500人
平成25年度	4,520人 横展開科目 3,000人、新規・充実実践科目 220人、PBL800人、既存科目 500人
平成26年度 《最終》	6,000人 横展開科目 4,200人、新規・充実実践科目 400人、PBL900人、既存科目 500人

3. 部会メンバー

部会チーフ：安田 和彦（外国語学部教授）

部会員：林 誠次（キャリア教育研究開発センター事務長）

事務部署：井上 嘉規（教学センター事務部長）

4. 平成22年度（当年度）活動履歴

日付・時間・場所・参加者	活動内容
平成23年1月17日 14:00～15:00 教学センター 安田、井上、林	- 部会のテーマ・就業力育成支援事業における背景・目的方向の共有と意見交換 - 第1回就業力PT会議の部会報告内容について打合せ
平成23年2月15日 16:00～18:30 教学センター 安田、井上、林、（メンバー外）吉門、安田、久保田	「自己発見と大学生活（1年次）」の受講生拡大方法の提案事項の決定と授業計画について検討 「大学生活と進路選択（2年次）」の受講生拡大方法の提案と課題について検討
平成23年3月2日 10:30～12:30 就業力育成推進室 安田、井上、林、（メンバー外）久保田	- 前回の検討・課題事項について進捗報告 - 受講生拡大に向け、具体的な周知方法、ターゲット層について検討 - キャリア形成支援ガイダンス開催について、開催時期、内容等について方向性と課題について検討

5. 平成23年度（次年度）活動計画

【実施】

- ・キャリア形成支援ガイダンス（在学生は、履修ガイダンスを活用し、新入生は学生生活オリエンテーション時にガイダンスを実施）
- ・1年次科目「自己発見と大学生活」受講生確保にむけ、「自己発見レポート」から誘導（封筒、案内資料に科目内容等記載）
- ・学部必修科目からの誘導（授業開始前に案内）
- ・平成24年度にむけ時間割の検討（全学共通教育科目の中でキャリア形成支援科目を調整）
- ・就業力（コーオペ/社会人基礎力）グランプリの開催との連動

【調査】

- ・開講時間帯の調査（必修科目とのバッティングと履修しやすい時間帯：火3・木3・金3など）
- ・学生が実感する就業力成果（就職状況・満足度・役立ち度）や学生にとっての魅力ある科目内容（コンテンツ）についてヒアリング調査

【検討】

- ・履修モデル・体系図（1年秋学期開講科目）の明示
- ・1年次生から4年次生まで発展的なプログラム体系を整える⇒クラス担当持ち上がり
- ・特色あるクラス（女子クラス・スポーツクラス）の設置
- ・高校生など入試広報（付属高校との連携）の検討
- ・Webサイトや受講者へのメールなどによる広報の検討
- ・成果報告会（受講生の声と集客効果のあるゲスト招聘）

6. 現状における課題

【課題項目】

- ・キャリア形成支援ガイダンスに参加させるための工夫 ⇒ 半強制的か有名ゲストか
- ・1年次生から2年次生への履修誘導について（1年次生は自己発見レポ、3年次生は就職）
- ・学生にとって魅力ある内容＝就業力が魅力あるチカラだとどう発信するか
- ・キャリア形成支援と学部専門教育、教養教育までを包括したキャリア形成支援ガイダンス・履修指導をどうするか？
- ・PBL型科目など実践系の意欲の高い学生と低意欲層をどう引き上げるか？

以上